

## 2017年度 第2回ビブリオバトル開催



12月20日（水）放課後、理数科講義室にて、今年度2回目の「ビブリオバトル in 小松高校」が開催されました。

発表者には、毎回出場の生徒、満を持して参加した2年生、1年生も3人が名乗りを上げ合計6人の生徒が出場しました。7月の前回以上に、推薦する本へのバトルの愛情が伝わり、内容を知ってほしい思いを伝えたいという気持ちを感じられました。とにかく、参加者の1冊の本への熱意と愛情を強く感じた会でした。

また、参加者は50名にもなり、小松市立図書館より山崎館長様、亀田様にもお越しいただきました。これからも、読書の楽しみを表現し伝える力を磨く場として、この会を盛り上げていきたいです。

発表者から紹介された本は次のとおりです。

- 『地獄堂霊界通信 完全版①』（香月日輪 著）
- 『フライ、ダディ、フライ』（金城一紀 著）
- 『ぶりっかすの神様』（岡田 淳 著）
- 『公開処刑人 森のくまさん』（堀内公太郎 著）
- 『奇跡のリンゴ』（石川拓治 著）
- 『池袋ウエストゲートパーク』（石田衣良 著）



〈バトルの皆さん〉



〈校長先生より講評の様子〉

最後に参加者全員の投票で決まった、今回の「チャンプ本」は……！

投票接戦の中、堀内公太郎著『公開処刑人森のくまさん』に決定しました。

〈生徒の感想より〉

- ・本に対する熱意がとっても伝わってきて、私も久しぶりに何か読みたいなあと思いました。本と出会うっていいなと改めて思いました。
- ・人生初のビブリオバトル観戦でしたが、なんでもっと早く来なかったんだっ!!と叫んでしまいそうです。それほど全ての本が読みたくて全部マルをつけたいです、本当に。想像がついていなかったビブリオバトルの内容でしたが、今回経験できて良かったです。ずっと出てきたいです。